

## ニカラグアを憂いている君へ その1

### スエーデンの元連帯活動家への手紙

Nicaragua - Letter to a former Swedish solidarity brigadista

<http://www.tortillaconsal.com/tortilla/node/12224>

Jorge Capelán, Managua with Love, July 6, 2021

Nicaragua - a different focus



*"La América Latina unida se salvará: desunida perecerá. Trabajemos, Compañer@s, por esa unificación, para asegurar la verdadera independencia de nuestros pueblos"*

Augusto C. Sandino

#### はじめに

かつてニカラグアで支援活動を行ったスエーデン人連帯活動家からメールが届いた。そのメールには「これについてどう思いますか？」というコメントを付けた、一通の手紙が添付されていた。

非常に衝撃を受けた。その手紙の内容は僕には嘆かわしいものだった。

それは僕には「旧世界」の一般的な衰退の影響を強く受けて居るように思われるものだ。ニカラグアの実情をほかの多くの活動家にも知ってもらうため、手紙は公開とした。

#### ニカラグア政府は独裁ではない

こんにちは、親愛な友よ。君からメールを受け取ってうれしいです、

信じられないことです。僕が独裁政権を支持していると、君が思うのは。

君は僕のこれまでの生活と僕の家族の歴史をよく知っているはずですが。僕はいまさら独裁支持になって、母の記憶を冒瀆するようなことは決してしません。

僕は独裁が何であるかを、とてもよく知っています。

警察が、いつも君に身分証明書を見せるよう迫る理由は何なのか、僕は知っています。

弾除けの土嚢でバリケードされた、警察署の前を歩いて通り過ぎることがどういうことか、僕は知っています。

警察署で行方不明の親戚を、次々と探し歩くのがどういうことか、僕は知っています。

7歳の時に、学校のトイレに「政治犯を解放せよ」と書かれたステッカーを貼りました。それがどういう意味か、僕は知っています。

真夜中に、親戚を捜索する兵士で、家がいっぱいになるのがどういふことか、僕はよく知っています。

僕は生まれ育った国、ウルグアイの警察と軍隊が、軍事独裁政権の間にどのように行動したかをよく憶えています。

そして僕はスウェーデンの警察が通常どのように振る舞うかをよく知っています。

そして、いまニカラグアの警察と軍隊がどの欧に行動しているかもよく知っています。

その上で断言します。ニカラグアは民主主義を持っています。その保証は、ダニエル・オルテガという大統領とFSLNと呼ばれる与党組織です。

率直に言って、ニカラグアの警察は最高です。

## 2018年4月に起きたこと

2018年4月にここニカラグアで起きたことはクーデターそのものでした。

「抗議者」、すなわち市民を誘拐・拷問・強盗・殺害・レイプした人々は、そのクーデターの推進者でした。

なぜそういうのか、彼らが自分のスマートフォンですべてを録画したからです。

彼らは街頭でサンディニスタの同志を殺害し、遺体にガソリンをかけて火をつけさえました。

彼らは血だらけのメディアを通じて、「サンディニスタをやっちなえ」と叫びたてました。

数週間の間、彼らはメディアに守られて、ある程度の人々をだますことができました、

しかし、彼らが街頭に作られたバリケードの向こうで何をしようとしているかが分かると、彼らの支持はたちまち消えました。

抗議のために街頭に出たのは彼らだけだと思っははいけません。サンディニスタも政府を支持するために大規模なデモを行いました。

しかし、ヨーロッパのメディアはそれを報道しませんでした。クーデター参加者が犯した恐ろしい殺傷行為も示しませんでした。

## 君にとっての「民主主義」

君は自分が民主主義の世界に住み、僕たちが独裁の国に住んでいると思っているのでしょうか。

僕たちにとって、君のいう「民主主義」は、ニカラグアにウィリアム・ウォーカー、ソモサ、コントラを「与えた」と同じ「民主主義」でしかありません。(彼らはいずれも侵略者か、アメリカの手先)

そして3年前にこの国を破壊しようとしたクーデター参加者も同断です。

最近になって拘留された人は、いま調査中です。刑事訴訟法は、逃亡の可能性のある被疑者について、最大90日間拘留することを認めています。

それにはボリビアでの前例があります。最悪の人権侵害者が逃亡して米国に逃げ込んだのです。

同じことが他の多くのラテンアメリカ諸国でも起こっています。

いつでもそんなものです： ラテンアメリカでは、人権の侵害者は、常に米国からの援助を受けてやってくるのです。なぜでしょうか？

## 勾留者の顔ぶれと容疑

ところでニカラグアで今取り調べ中の人物はどんな人達でしょうか。

グループには次のものが含まれます。

- \* 2大銀行の頭取。
- \* パナマのオフショア会社と関係する投機家たち。
- \* いくつかの大地主。
- \* ネオリベの元文部大臣。1980年代の識字教科書の焼却を命じたことで有名になった。彼はまた、貧しい人々にとっては4年間の学校教育で十分であると言ったことで有名になった。

\* アルノルド・アレマン。3年前のクーデターの首謀者の1人であった。USAID(CIAのフロント組織)のエージェントでもあった。アレマンの妻も勾留中。

\* ビオレタ。チャモロの息子と娘。息子は1980年代にコントラの麻薬密売を担当したことで知られる。

\* 3人の元サンディニスタ。彼らは1994年の党大会で影響力を失った後、FSLNを去り、別の党を結成した。数ヶ月前、彼らは党の名前から「サンディニスタ」という言葉を削除しました。「うんざりした」のが理由です。

## どうして彼らは取り調べられているのか

なぜこれらの人々は調査されているのでしょうか？

### 1)外国からの政治資金援助

ひとつは、政治活動のためにUSAID、ヨーロッパ諸国から多額のお金を受け取ったためです。

文明国はそれを許可していません。スウェーデン王国基本法(憲法)も、市民が政治目的で「外国勢力から資金を受け取る」ことを許可していません。

その資金は、ヨーロッパの街角でコーヒーとクッキーを売る連帯委員会などではなく、はるかに巨額なものです。

サンディニスタが2007年に政権に復帰して以来、クーデター首謀者たちは外国資金援助を受けて反政府活動を続けてきました。彼らが受け取ったのは総額で約数億ドルです。それらすべては米国流の新自由主義政策の復活を狙うものでした。

外国からの援助と言いましたが、これらの人々はNGOと関連した疑いで調査されているわけではありません。ここニカラグアには、あらゆる種類のNGOが6,000以上あります。その絶対多数は、法律の範囲内で運営されています。

外国とのもう一つの資金関係は外国組織とのエージェント契約です。ニカラグアでは、ニカラグア国籍の人が外国の会社や政府を代表すること、つまりいわゆる「外国代理人」になることは禁止されていません。それは個人の資格問題です。

法律上の資格要件は、

- a) エージェント登録していること
- b) 国政に干渉しないことに同意する。そして
- c) 登録した活動内容を実際に実施すること。

ニカラグアの「外国代理人法」は、1930年代の米国 FARA 法をモデルにしており、現在も有効です。

## 2) 使途が不明であること

もう一つの理由は、彼らが受け取ったお金の使い方について明確な説明を提示しなかったためです。僕の知る限り、領収書がないものは少なくとも 1,500 万ドルあります。

どうして？

つまり、

クーデターの犯罪者のために、外国製の武器、爆発物などを買い与えると、ふつう彼らは領収書をくれません。残念ながら、2018 年のクーデターの加害者もそうでした。

## 3) USAID は違法性を否定できない

USAID はビオレータ・チャモロ基金の監査報告書を承認しました。しかしそれは独立した外部監査人のチェックは受けていません。これは米国法自体に反しています。

そして USAID 自体も、監査報告書の信憑性を保証できなかったことを認めています。

これが USIAD がここ数年行動してきた方法です。僕はこれらの文書を自分で見たので知っています。

彼らの方法は、公然と法律を侵しており、絶対にインチキです。それが西側諸国政府が第三世界の国々にとってきた方法です。しかしその関係は、今日ニカラグアで終わりました。

ヴィオレータの娘、クリスティアナがニカラグア検察から財団会計について査察を受けました。彼女は「USAID がそれを承認したので、すべてが違法である」と図太く答えました。

本当に？

スウェーデンの金融犯罪の捜査であれば、スウェーデン検察はその答えを受け入れると思いますか？

僕ならしません。